

No. 2300

展望の良い低山 藤野丘陵と金剛山

実施日 19年5月12日(土)

天候 快晴

リーダー 馬場 清士

参加者 斎恵美子、友近洋子、若村勝昭、
佐藤金治、小野節子、山口駿三、
岩井康子、小池述史、伊東勝昭、
馬場清士、福島政幸、鈴木恵美子
計 12 名

コースタイム JR 高尾駅(8:44)藤野駅(9:03~9:15)日連大橋(9:20)芝田(9:45)秋川橋(10:00)高倉山(10:55~11:05)天神峠(11:10~11:15)前金剛山(11:40~11:45)金剛山(12:00~12:50 昼食)大地の塔(13:15)葛原神社(13:20)一本松(13:30)坊主山(13:55)石山(14:15~14:40)弁天橋(15:10)藤野駅(15:20)

藤野駅には、かなりのハイカーが降り立った。駅前で身支度を整え歩き始める。



20号線に出て、

相模湖方面に少し戻り日連大橋を渡る。橋の下は相模川で相模湖に流れ注ぐ、天気は快晴で新緑の景色が素晴らしく、遠くに山



藤が咲いている。駅にかなり居たハイカーが誰もいない、陣場山方面に行ったのだろうか、日連大橋を渡っているのは「こぶし会」

のメンバーだけだ。秋川橋を渡り、藤野園芸ランドを過ぎ山道に入り、北斜面の鬱蒼とした林の道を行く。やがて秋山川橋を左に見て、右の斜面を急登するが、階段状の



登山道は堪える。尾根筋に出ると新緑のトンネルが続き、歩きやすくとても気分がいい。高倉山を過ぎ、一

旦天神峠に下り、金剛山を目指し登り返す。急登をこなしてしばらく行くと、「金剛山 468.4m 藤



野町十五名山」の標識がある。(取り敢えず前金剛山と呼ぶことにする)ここからは道志の山々を初め御正体山の雄姿が美しい。県境鞍部まで下り、登り返すと狭い頂きを持った「金剛山 491m」が現れた。自然林に囲まれた静かな山だ、落葉後の初冬は展望が素晴らしいと感じた。ここで新緑のオゾンを浴びながら昼食を摂った。県境鞍部まで戻り、急降下して一旦集落に出て山道



に入り、坊主山を過ぎ見晴らしの良い石山で、「喫茶小池」を開店し大休止とした。後は下りのみ、スポーツ広場の脇を通り、弁天橋を渡り藤野駅に戻った。「芸術家の町藤野」には120人位の芸術家が居るらしい。その方たちが作製したモニュメントが、道沿いに置いてあり、山と芸術を楽しんだ1日であった。

(記・馬場 清士)